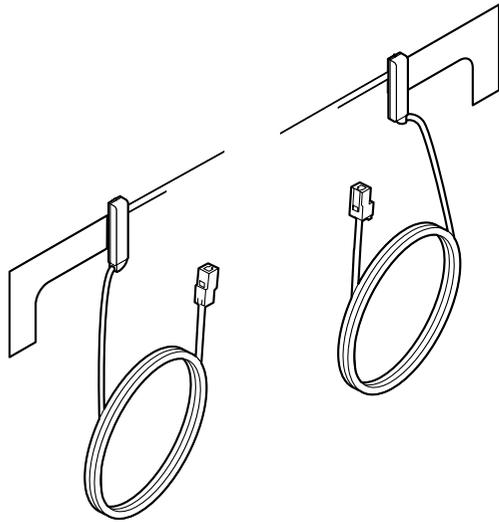


取付説明書

ダイバーシティアンテナ
(地上デジタル用：車室内フィルムタイプ)

品番 TY-CA230DTF



このたびはパナソニックダイバーシティアンテナをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取付説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(2~4ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき安全にお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

松下電器産業株式会社 映像・ディスプレイデバイス事業グループ

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号
(サービス担当) (0466)34-2757

2007 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.

TQBA0532
Y0107-0 (MS)

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は、「死亡または重傷などを負うことが想定される危害の程度」です。

注意 この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

警告

運転や視界の妨げになる位置に取り付けない

 前方・後方の視界の妨げになる位置など、運転に支障をきたす位置への取り付けは、事故の原因になります。
禁止

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しないでください

 ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因となります。
禁止

はずれたり・落下しないように、しっかり取り付けてください

 ねじがゆるんでいたり、接着が弱いと、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

配線・取り付け／取り外しは、専門技術者にご依頼ください

 取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。
●安全のため、お買い上げの販売店に依頼してください。

警告

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめてください



車の電装品（ブレーキ・ライト・ホーン・ハザード・ウィンカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

ケーブルクランパーなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かないでください



禁止

あやまって、飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

故障や異常のまま使用しないでください



禁止

煙りが出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因となります。

●直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

指定に従って正しく配線・取り付けをする



説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと、火災や事故の原因になります。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付け・配線しない



禁止

エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

分解、改造はしないでください



分解禁止

火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したらアンテナ線やテレビには触れないでください



接触禁止

感電の原因となります。

警告

はり付許容範囲内に取り付ける



国土交通省の定める保安基準に適合する位置・寸法（はり付許容範囲内）にはり付けしないと、道路交通法違反となります。はり付許容範囲内については、本書の「はり付ける位置について」をご覧ください。

注意

車載用以外には使用しないでください



禁止

車載用以外（例えばレジャーボートやアウトドアなど）に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

コードをかみ込ませたり、引っ張ったり傷つけないでください



禁止

ショートや断線により、発火や故障の原因となる場合があります。

必ず付属品や指定の部品を使用してください



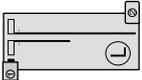
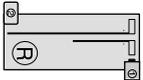
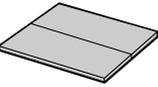
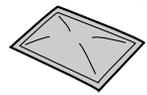
指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になります。

構成部品一覧表 (取り付け前にご確認ください。)

本機には、次のものが付属されています。設置、接続の前にご確認ください。

()は個数です。

万一、足りない場合や破損していた場合は、すぐにお買い上げの販売店や購入先までご連絡ください。

<input type="checkbox"/> フィルムアンテナ [左] …… (1) 	<input type="checkbox"/> フィルムアンテナ [右] …… (1) 	
<input type="checkbox"/> アンブ [左] ………… (1) 	<input type="checkbox"/> アンブ [右] ………… (1) 	
<input type="checkbox"/> 固定用シート ………… (1) 	<input type="checkbox"/> ケーブルクランプ ………… (6) 	<input type="checkbox"/> クリーナー ………… (1) 

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- この取付説明書のイラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。

次のようなところでは、映りにくいまたは、映らないことがあります

- 地上デジタル放送が行われていない。または、受信できない地域
 - ビルとビルの間を走行または停車している場合
 - 上空を飛行機が通過または電車が近くを通過している場合
 - 送電線の付近を走行している場合
 - 放送局から遠いところを走行している場合
 - 山かげや木立ちの影に入って走行している場合
 - トンネル内や鉄橋を走行している場合
 - 地下や高架下等を走行または停車している場合
 - 自動車、バイク、高压線、ネオンサイン等の近くを走行している場合
 - ラジオ放送、アマチュア無線局の送信アンテナの近くを走行している場合
 - 車両の搭載機器(※)が動作している場合ノイズが発生し、アンテナレベルが低下することがあります。
- ※：電動ドアミラー、パワーウィンドウ、エアコン、HIDランプ、電動カーテン、電動サンルーフ、ドライブレコーダー、レーダー探知機など。

お客様へのお願い

- このアンテナは、パナソニック車載用デジタルチューナー専用です。
- このアンテナはフロントウィンドウはり付け専用です。フロントウィンドウ以外の場所には、はり付けしないでください。
- はり付け・配線をするために、フロントウィンドウ周りの内張り（ピラーカバー・ルーフライニングなど）を一時的に取りはずす必要がありますので、ご了承ください。
- フィルムアンテナ、アンブ、ケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。
- フィルムアンテナを折り曲げたり、キズを付けたりしないでください。断線等により電波の受信が悪くなる場合があります。
- ガラスをふくなどするときは、強くこすらないでください。また、シールやステッカーはがし剤を使わないでください。破損の原因となります。
- 車種によって、取り付けられない場合や性能が発揮できない場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
 - ・熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。お車をお買いになった販売店に確認してください。
 - ・ミラーフィルム、蒸着フィルムなどの電波不透過フィルムを施工したガラスの場合には、受信感度が極端に低下します。お買い上げになった販売店に確認してください。
 - ・エアバッグをピラーに搭載している車両には、取り付けできません。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

はり付ける際の留意点

一度はり付けると、フィルムの素子破損や粘着力が弱くなるため、はり直しできません。アンテナをはる前に必ずコードおよびアンテナを仮止めし、コードの引き回しなどを十分に検討してからはり付けてください。

- 必ずフロントウインドウの指定の位置・寸法内に正しくはり付けてください。(右記参照)
- アンテナを接続する機器(デジタルチューナーなど)の説明書も併せてご覧ください。
- フロントウインドウ(内側)の汚れ(ごみ、ほこり、油など)や、くもり止めや水分などを付属のクリーナーできれいにふき取ってください。ガラス面が乾かないうちは、はり付けしないでください。エレメントがはり付かなくなります。
- エレメントやアンブおよびケーブルランパーなど、フィルムやはくり紙などをはがした面には手でふれないでください。また、長時間の放置はしないでください。汗や汚れまた静電気による故障や接触不良の原因になります。
- ガラス面が結露したり気温が低いときは、はり付かなくなります。エアコンをオンにして十分に乾かすか、車内ヒーターで暖めてからはり付けてください。

■ 取扱注意 について

本製品は、可能な限り破損しにくい設計になっていますが、フィルムアンテナという製品の性質上、やむを得ず十分な強度が得られない個所があります。本書では、そういった個所を 取扱注意 で示しています。

このマークの個所は、絶対に、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじるなどしないでください。破損の原因になります。

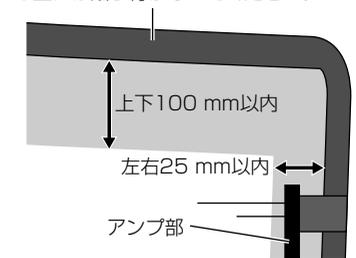
■ はり付ける位置について

- 国土交通省の定める保安基準*に適合させるため、アンブ部は必ず下図のようにはり付けてください。
*保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第4項第7号に対する、平成11年12月27日付けの運輸省(当時)告示第820号をいいます。
- 左ハンドル車にはり付ける場合も、下図のとおりにはり付けてください。(左右逆にはらないでください。)
- フロントウインドウに、すでにフィルムタイプのアンテナを取り付けている場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。(指定の位置・寸法内に取り付けられない場合があります。)

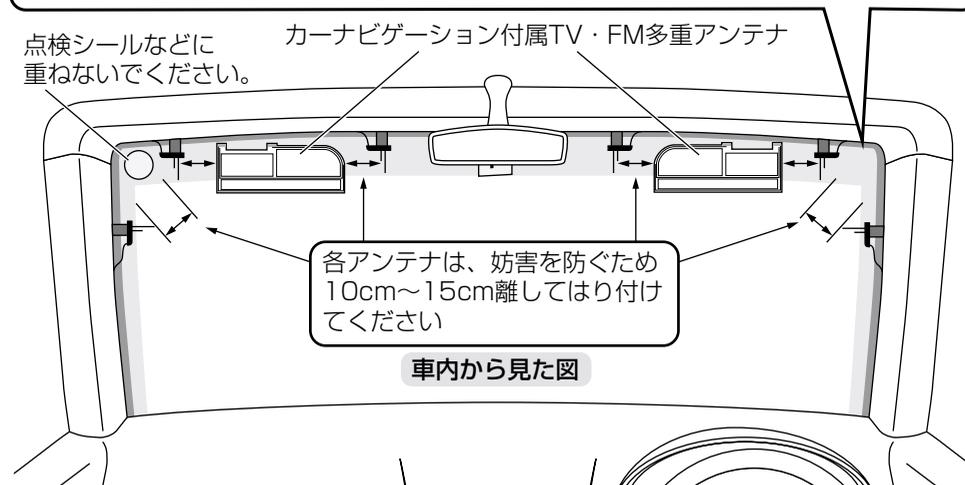
■ はり付け許容範囲(■部)について

アンブ部は、必ずはり付け許容範囲内にはり付けてください。また、アース部を車体の金属部に接触させて内張り(ピラーカバーなど)で押える仕様ですので金属部に届く範囲にはり付けてください。はり付け許容範囲外にはり付けると、国土交通省の定める保安基準に適合しません。

セラミックライン(ウインドウの黒い縁)の上には貼り付けしないでください。



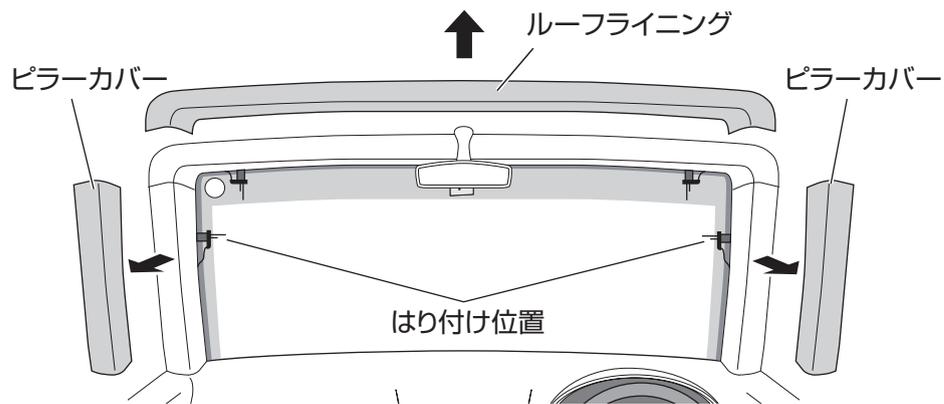
点検シールなどにカーナビゲーション付属TV・FM多重アンテナを重ねないでください。



1. はり付け位置の確認

本説明書の表面に記載の「はり付ける際の留意点」を参考に、フロントガラスへのはり付け位置を決め、はり付け面をクリーナー（付属）できれいにふきとります。（ガラスが乾かないうちはり付けしないでください。エレメントがはり付かなくなります。）

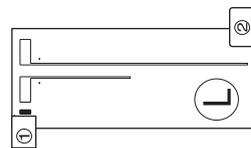
- ピラーカバーを取りはずして、はり付け位置を確認してください。
- 縦にはり付ける場合はルーファイニングを取りはずして、はり付け位置を確認してください。



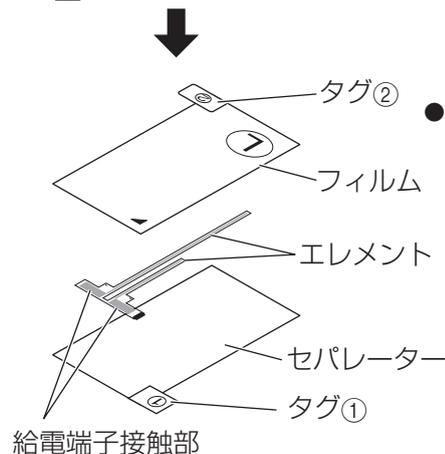
- 実際の配線を想定して、フィルムやコード類を市販のテープで仮止めてエレメントやアンプなどが貼り付けられることを確認してください。フィルムのはり直しはできませんので、必ず行ってください。

2. はり付けの準備

- フィルムアンテナは、3層構造（下記参照）になっています。



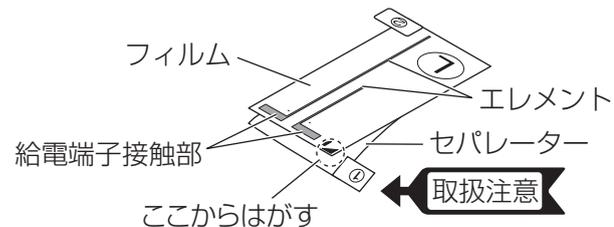
- 左図は左側（L）用のフィルムアンテナです。以降、左側（L）用を例に説明しています。



- フィルムとセパレーターの間でエレメントが挟まれています。エレメントの広い部分が給電端子接触部です。

■ セパレーターをはがす

必ずタグ①部からフィルム側に残っていることを確認しながら必ずゆっくりと、セパレーターをはがします。エレメントがセパレーター側に残る場合は、セパレーターを元に戻してエレメント上を強くこすり、再度ゆっくりとはがしてください。



お願い

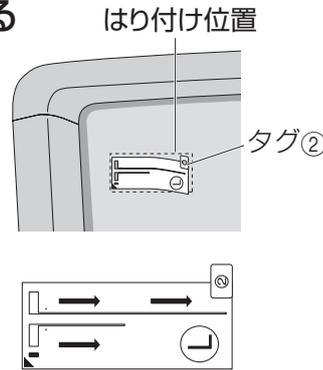
- フィルムを強く曲げたり、急にはがすとエレメントが断線する恐れがあります。

3.はり付け方法

1 フィルムをフロントウィンドウにはり付ける

車内から文字が読めることを確認してから、フィルムの端面をガラス面のはり付け位置に合わせ、空気が入ったり、しわが寄ったりしないように注意して、ゆっくりと端からはり付けます。
全面はり付け後、エレメント上を強く押さえてエレメントをガラスに密着させます。

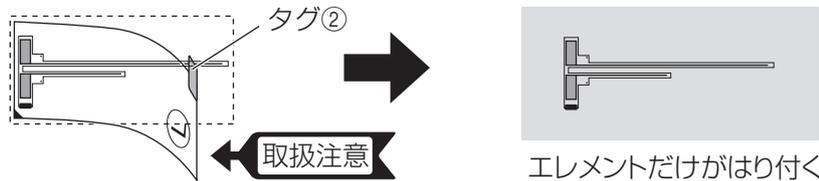
全面はり付け後、エレメント上を矢印のように柔らかい布や樹脂ヘラ(市販)で強くガラスに密着させます。(エレメントのない部分は押さえない方が後の工程の作業性がよくなります。)



お願い

- エレメント部分の押さえが不足すると、フィルムをはがすときにエレメントがはがれる恐れがあります。給電端子接触部は空気が残りやすいので念入りに押さえてください。
- タグ②部付近は、次の工程ではがしにくくなるので、あまり密着させる必要はありません。エレメントを中心に強く押します。指で押すことが困難な場合は樹脂ヘラ(市販)などを使用してください。(エレメントのない部分は押さえない方が後の工程の作業性がよくなります。)
- はり付けた状態で車の外側からエレメント上に空気が残っていないことを確認してください。空気が残っている場合は、その部分の空気を押し出してください。

2 フィルムをはがす



タグ②部からゆっくりと、エレメントがガラス面にはり付いていることを確認しながらはがします。フィルムと共にエレメントもはがれる場合は再度フィルムをはり付けてエレメント上を強く押ししてください。

お願い

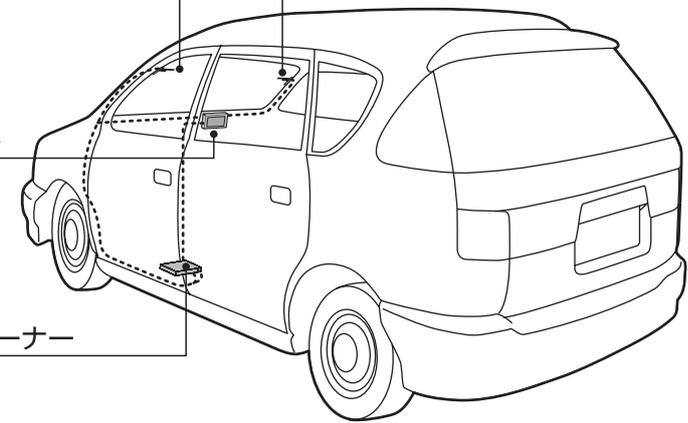
- タグ②部以外のところからはがしたり、急にはがすとエレメントが断線する恐れがありますので、取り扱いに気をつけてください。

フィルムアンテナ(左)

フィルムアンテナ(右)

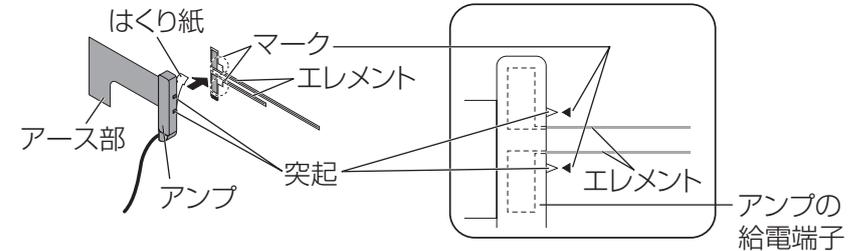
ディスプレイユニット

車載用デジタルチューナー



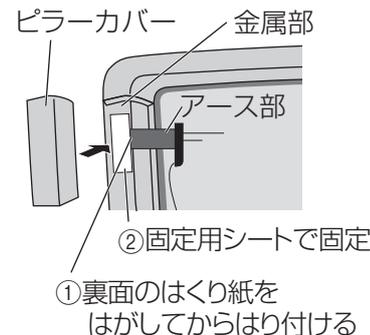
3 アンプをエレメントにはり付ける

左側用アンプのはくり紙をはがして、エレメントの給電端子接触部の小さな▲印と給電端子の先端の突起を合わせてはり付けます。



4 アース部を車の金属部に接触させる

- ① アンプのアース部のはくり紙をはがして、ピラーの金属部へはり付けてください。
- ② 付属の固定用シートで固定し、ピラーカバーで押さえてください。



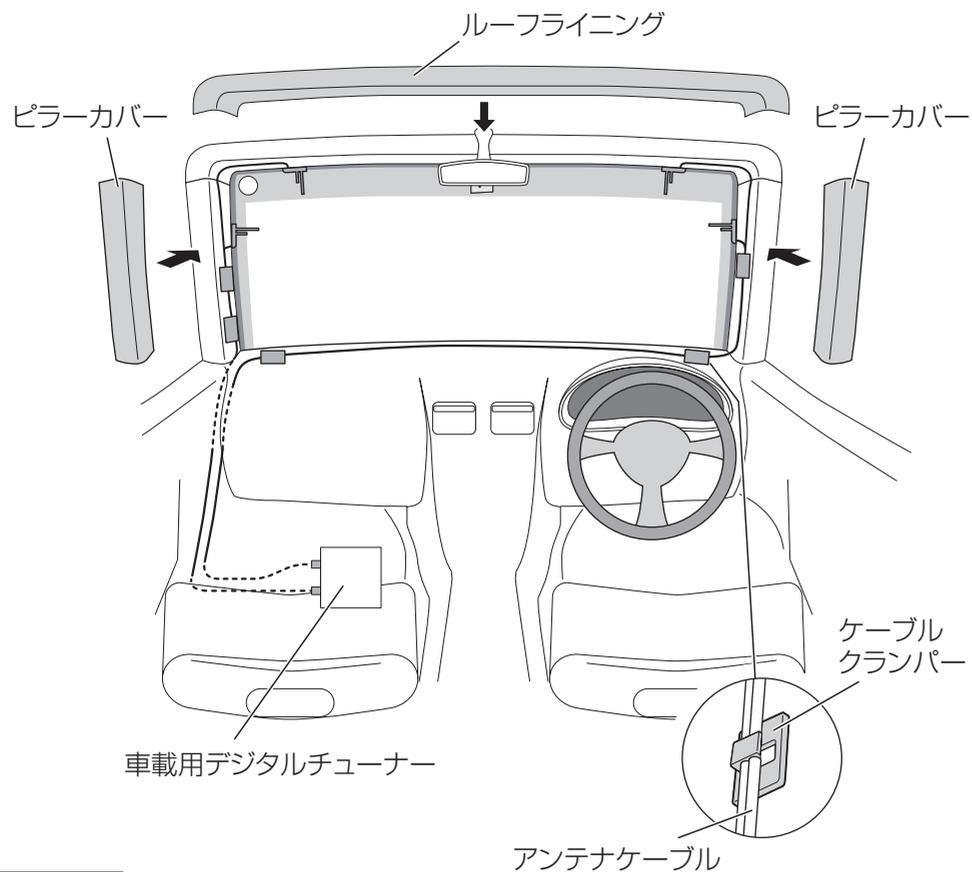
お願い

- アース部の接触の際、金属部の塗装を削る必要はありません。
- ピラーカバーに入らない場合は、折り曲げてピラー内部に収まるよう市販のテープなどで固定してください。
- 金属部への接触が不十分ですと、所期の性能が出ませんので、必ず付属の固定用シートで確実に固定してください。

4. ケーブルの引き回し

■車室内から見たウィンドウ側のケーブル処理

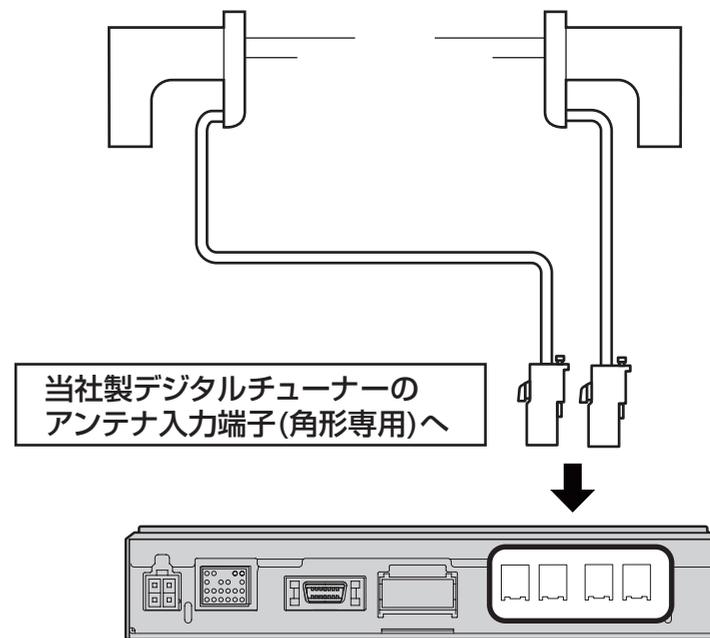
- 下図を参考にアンテナコードを引き回して配線してください。
- ルーフライニング・ピラーカバーをもとに戻してください。



お願い

- アンテナケーブルは、他のケーブルや電源コード類からはなしてください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。
- ケーブルはふまれたり、はさまれたりしない所を通し、ケーブルクランパーや市販のテープで固定してください。また、ケーブルのたるみなどは束ねて固定してください。
(いすを前後に移動してもケーブルが破損しないよう、ケーブルを引き回し、固定してください。)

接続のしかた



- アンテナは、チューナーのどのアンテナ入力端子へ接続してもかまいません。

仕様

受信チャンネル	UHF (13 ch ~62 ch)
出力インピーダンス	50 Ω
エレメント全長	約90 mm
電源	DC 8 V (接続しているデジタルチューナーよりケーブルに重畳)
消費電流	30 mA × 2
アンプ利得	13 dB 以上 (470 MHz)
周波数範囲	470 MHz ~770 MHz
ケーブルの長さ	約 7 m
質量	片側 約 70 g (コネクター、ケーブル含む)
取り付け場所	フロントウィンドウ

※ 仕様および外観は、性能向上その他の理由で、予告なく変更する場合があります。